県道をより

OITA CONSUMER'S CO-OPERATIVE UNION

No. 103

March 2020

大分県生活協同組合連合会

〒870-0278 大分市青崎1-9-35 TEL 097-527-4056 FAX 097-527-4084

おおいたの生協



監事研修会



大分県行政への要望書提出



ボウリング大会



県生協連と県行政との懇談会

CONTENTS

第7回県生協連主催会員生協監事研修会を開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
県生協連2019年度役員視察研修を実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
令和2年度 大分県予算編成並びに行政執行に関する要望書提出・・・・	5
第25回大分県生協大会を開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
県生協連主催 第30回スポーツ交流会 (ボウリング大会)を開催 …	8
2019年度会員生協役職員研修会を開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
県生協連と県行政との懇談会	11

OITA CO-OP TOPICS

生活協同組合コープおおいた
日田市民生活協同組合14
グリーンコープ生活協同組合おおいた
大分県学校生活協同組合16
大分大学生活協同組合17
大分県職員消費生活協同組合18
大分県労働者総合生活協同組合19
大分県勤労者医療生活協同組合20
大分県医療生活協同組合21
大分県福祉生活協同組合22
大分県労働者福祉協議会23

第7回県生協連主催会員生協監事研修会を開催

県生協連主催の第7回監事研修会を2019年9月26日休に大分市中央町「ソレイユ」において開催し、県連と12会員生協の監事・役職員32名が参加しました。

研修会は、河原県連専務理事の総合司会で始まり、主催者を代表して青木博範会長理事より「10月から消費税が10%に増税となるが、現在の生協の経営状況は店舗は赤字、宅配も減少傾向と厳しくなっており、加えて人員不足の状態が続いている。このような状況の中、監事の皆さんは組合員のため監事としての責務を果たすべく研鑽に努めてもらいたい」とあいさつの後、「期末監査・会計監査と監査報告書作成のポイント」と題して、講師の宮部好広氏(日本生協連総合マネジメント部法務部長)より講演がありました。

【講演要旨】

1. 監事の職務の基本

(1) 監事の職務

監事は、理事が健全な生協運営のために、忠実に職務を執行しているか、理事がその 経過と結果を適正に報告しているかを、監視し、検証し、その結果を報告すること。

- (2) 監事の活動の4つの視点
 - ① 監査に取り組む監事の体制をどう作り、運営するか。
 - ② 監査に責任を持って取り組める環境をどのように整備するか。
 - ③ どのように監査活動を行い、その結果をフィードバックするか。
 - ④ 監査活動の経過と結果をどのように報告するか。
- (3) 監査報告の記載事項と報告のポイント

生協法施行規則第131条・第132条に基づく記載事項ごとに、

- ① 監査の方法・内容は、監査調書を記録で残し、報告書に反映させること。
- ② 事業報告書と付属明細書は、法令の記載事項が漏れていないか、記載内容が生協の状況を正しく示しているか。
- ③ 理事の職務遂行の監査は、理事会での意思決定や業務執行状況の監督に、善管注意義務を尽くして参画しているか、常勤理事の職務遂行に不正や法令・定款違反がないか。
- ④ 貸借対照表・損益計算書とその付属明細書の検証は、法令に従って作成されているか、 生協の財産や損益の状況を正しく表示しているか。
- ⑤ 剰余金処分案(損失処理案)の検証は、法令や定款上、不適切な点はないか(違法配当など)、経営状況との関係で不適切な水準ではないか。
- 2. 監事の期末監査の要点と内容
 - (1) 事前準備は、総代会係日程の適法性の確認、期末監査日程の作成、期中監査結果の整理
 - (2) 準備時の監事会は、期末監査日程の決定、監事候補者に関する方針の審議
 - (3) 期末監査の実施は、決算関係書類と事業報告書を受理し、担当理事及び職員から説明を受け、適法性・相当性を含む調査、理事会での審議・承認状況の確認
 - (4) 代表理事との会合(5) 公認会計士等との連携・会合(6) 監査報告書作成・提出時の監事会
 - (7) 総代会議案決定の理事会前の監事会(8)決算理事会の監査

- (9) 総代会の準備に関する監査、総代会前の監事会
- 3. 監事の会計監査
 - (1) 会計監査の目的は、理事は生協の業務遂行を受任し、その状況を報告する義務があり、理事から独立した立場の監事の監査を受けてその報告書の適正性・信頼性が担保されることにより、組合員の代表である総代が承認して良いかを判断するための前提条件である。
 - (2) 監査の方法
 - ① 公認会計士等の監査を受けていない生協の会計監査
 - ② 公認会計士等の監査を受けている生協の会計監査

4. 監査報告書の作成

決算、監査報告書の作成・提出に関するスケジュール表と監査報告文例を説明された。

講演後、4名から質疑を受け、終了しましたが、参加者からはとても解りやすかったと好評でした。







県生協連2019年度役員視察研修を実施

県生協連の2019年度役員視察研修は、2018年7月の西日本豪雨災害の被災地である広島県広島市内を視察することとし、10月12日(土)~13日(日)、理事11名、監事1名の12名が参加しました。参加理事・監事は以下の通り。

青木会長理事、河原専務理事、後藤理事、日隈理事、高瀬理事、金子理事 政丸理事、首藤理事、森理事、橋本理事、田辺理事、江藤監事

台風19号の影響で直前まで中止も検討しましたが、台風が広島を避けたため無事実施することができました。初日は新幹線のダイヤの乱れで予定より若干遅れて広島に到着し、広島県連の福島事務局長の案内で、広島県連が支援した市南部の坂町社会福祉協議会に出向きました。

移動の車中では広島県連作成のパンフに基づき、広島県内の災害の実態と広島県連としての 災害支援活動の概要を福島事務局長より説明していただきました。

坂町では、社協の奥事務局長から被災状況や災害復旧の取り組み状況を伺いました。坂町は人口約13,000人、約5,000世帯の町であり、山間部が多く平地は少ないため2ヶ所の埋立地を海岸部に造成しています。人口集中地区は河川周辺の3ブロックで、13の自治区がありますが、河川の氾濫でほとんどの自治区が被害にあい、特に山を挟んで離れた小屋裏地区は線路が遮断され、道路も混雑し復旧作業や移動手段等は大変だったとのことです。

社協の正規職員はわずか2名、他は臨時職員のため、災害支援の対応は困難でしたが、13の自治区の住民協議会が結集して、災害発生3日後の7月9日に「坂町被災者生活サポートボランティアセンター」を設置することができ、ボランティアの受付、ミーティング、各地域への派遣、必要な装備品の確保、各地区拠点から被災者宅への派遣等がスムースにできたとのことです。しかし、今なお仮設住宅に住まざるを得ない方々が多数おられ、生活の復興は道半ばとの印象を受けました。

その後、一番被害の大きかった小屋浦地区へ視察に向かいましたが、当時、広島県連から1 か月間坂町の対応に派遣されていた役員が同乗し、道すがら被害の実状の説明を受けました。

小屋浦地区は扇形の沿岸部と天地川を挟んだ山合いに住宅が密集しており、河川の氾濫により川沿いの歩道は破壊され、町営保育園の1階が喪失、多くの住宅が被害を受けました。自宅を建て直しているところもありましたが、流されたまま手つかずの土地も多く残っており、被害の大きさを感じるとともに、現地に出向いて見ないと解からないことを皆で実感しました。

初日の夜は、広島県連の高田専務と福島事務局長を迎えて交流懇親会を開催し、有意義な視察研修となりました。





令和2年度

大分県予算編成並びに行政執行に関する要望書提出

大分県生協連合会は毎年大分県に対して要望書を提出していますが、2019年度は、10月16日 かに大分県生活環境部長に「令和2年度大分県予算編成並びに行政執行に関する要望書」を提出しました。

要望内容は、各会員生協の意見をまとめながら作成しており、今回の要望事項は、①消費者 行政の充実・強化、②食の安全・安心、食品ロス削減の推進、③生活協同組合の育成・強化、 ④大規模災害等の被災者支援と復興・再生及び今後の災害対策、⑤生活困窮者支援の強化、⑥ 暮らしの安全・安心の確保、⑦農林水産業の育成、⑧医療・福祉についての8つのテーマです。

当日は、県生活環境部より宮迫部長、望月審議官、石松課長、原田補佐、首藤主幹の5名、 県生協連は、青木会長理事、河原専務、理事の後藤、高瀬、三重野、金子、政丸、首藤、森、 関谷職員の10名が出席しました。

最初に県生協連の青木会長理事より「日頃より、生活環境部の皆さんには県民の消費者行政・福祉・暮らしを良くする活動にご尽力されていることに感謝し、生協運動にご支援とご協力をいただいていることに御礼申し上げます。自然災害は今年も台風15号、19号が関東・東北に甚大な被害をもたらしましたが、全国の生協は早速募金や支援活動を開始しています。私たちを取り巻く状況は年々厳しくなっていますが、生協としてもできる限り県民生活の向上に向けて取り組みを進めてまいります。今回も消費者行政から医療・福祉まで幅広い分野での要望となっています。ご検討をいただきたい。」とあいさつがあり、出席者全員の自己紹介の後、青木会長理事より宮迫生活環境部長に要望書を手渡しました。要望書の内容については河原専務理事より8項目の概要が説明され、12月末までに文書で回答いただくよう要請しました。

その後、宮迫部長より「大分県生協連合会におかれましては、消費者行政、食の安全・安心、環境や福祉、災害支援等に多大なご協力をいただいていることに感謝申し上げます。本日いただいた多岐にわたるご要望については関係部署とも協議しながら誠意をもって回答申し上げます。」と述べられました。意見交換では、宮迫部長より「レジ袋の減少は進んでいるが、プラスチックごみをどう減らすかが大きな課題となっている」と発言があり、青木会長理事より「日本生協連は現在、プラスチックごみを減らすことをテーマに、メーカーと生協で研究会を立ち上げて議論している。一定の見解が出れば大分県とも協議したい。」回答があり、今後も意見交換の場を継続していくことを確認し終了しました。





第25回大分県生協大会を開催

生協運動の発展と会員相互の交流を深めるため、第25回生協大会を2019年10月24日休に大分市中央町「ソレイユ」において開催し、12会員生協より71名が参加しました。

大会は、河原伸明専務理事の総合司会で始まり、主催者を代表して青木博範会長理事が「台風19号の被害により日本生協連も義援金活動を開始しましたが、私も先週福島県に水等の救援物資を届けに行きました。各会員生協も可能な限りの支援活動をお願いしたい。今回の生協大会はフードバンクと子ども食堂の現状と課題について大分県社協の池永氏と藤田氏に講演をお願いしましたが、学習するだけではなく、今後の具体的な行動に役立てていただきたい。」とあいさつを行った後、来賓として大分県労働者福祉協議会の滝口元二郎専務理事より生協県連の活動に対する御礼と当面する労福協活動への協力依頼のあいさつがありました。

講演は、まず、大分県社協の池永哲二市民活動支援部長より「フードバンク」、藤田亘宏地域福祉部長より「子ども食堂」の現状と課題について詳しく説明を受けました。

【講演要旨】

- 1. フードバンクについて
 - (1) 社会福祉協議会 社会福祉法に基づく社会福祉法人 全国−県−市町村 大分県社協の組織図 ⇒市民活動支援部が「フードバンクおおいた」を担当 ⇒地域福祉部が「子ども食堂」を担当
 - (2) フードバンクは、1967年、アメリカで世界初のフードバンクが誕生 2002年、日本でセカンドハーベストジャパンが設立、2017年3月現在、77団体が活動。
 - (3) 食品ロスとSDGS 2015年、国連サミットで17の目標を採択
 - ①日本の食品ロスの大きさ 年間約646万トン(事業系357万トン、家庭系289万トン)
 - ②賞味期限と消費期限 よく理解してない日本人が多い
 - ③3分の1ルール 日本の食品流通業界の商習慣、製造日から賞味期限を3分割し、 製造日から3分1過ぎたら納品しない、3分の2過ぎたら販売しない
 - (4) フードバンクは、受ける側、企業側、行政側ともにメリットがある
 - ①フードバンクおおいたは、大分県社会福祉協議会が2016年6月30日に設立
 - ②食品の流れ 企業群 ⇒食品の寄贈

県 民 ⇒フードドライブ (コープおおいた)

- ③生活困窮者への支援は、フードバンクおおいたは直接はしない、市町村社協等を通す
- ④フードバンクを社協が行う意義⇒食品を寄贈する企業の安心感、社会的信用があること
- ⑤食品取扱量が1年で倍増 2017年度は10トン⇒2018年度は19トン
- 2. 子ども食堂について
 - (1) 子どもの貧困率の増加 2016年調査で13.9% (18歳未満の子ども7人に1人) 原因は様々あるが、離婚・母子父子世帯の増加、低所得者層の増加が大きい
 - (2) 子ども食堂の取り組み
 - ①2012年、東京都大田区でスタートし、2018年現在、全国で約4,000ヵ所

大分県では2016年にスタートし、2019年現在、61ヵ所

- ②運営は地域のボランティア・NPO・町内会など、場所は個人宅・公民館・民間 施設の間借、運営費は善意の寄付・カンパ・行政の助成金、食材はフードバンク・ 企業や農家、
- ③利用対象は老若男女誰でも(制限設定の場所もある)、活動日は月1~2日や週1~3日等、お昼開催か夕方開催、料金は子どもは無料から300円、大人は200円~500円など、地域の居場所交流機能、レクリエーションや寺子屋機能を持つ子ども食堂もある。
- (3) 子ども食堂の効果・意義
 - ①子ども・保護者の生きる力の向上、地域住民のつながり・充実感の向上など
 - ②高齢住民や子どもの居場所、地域の活性化など
 - ③「生きること」を支えるセーフティネットの役割など

講演終了後は、2名の参加者より質問と要望があり、終了しました。









県牛協連主催

第30回スポーツ交流会(ボウリング大会)を開催

県生協連は、会員生協間の交流を深めることを目的にスポーツ交流会を毎年開催していますが、2017年度よりそれまでのミニバレーボール大会から、誰でも参加できる競技としてボウリング大会に変更しました。

参加者や会員生協から好評であり、2019年度も第30回スポーツ交流会はボウリング大会を継続することとし、2019年11月9日出に大分市明野OBSボウルで開催、9会員生協から88名が参加しました。

受付で全員に飲物と参加賞を配布し、河原県連専務理事の開会あいさつ、始球式の後、競技を開始しました。

競技は一人2ゲーム合計点の個人戦で行い、優勝は日田市民生協の菅彩華さんが2連覇し、2位はコープおおいたの朝倉国雄さん、3位は県医療生協の吉光友一郎さん、4位は日田市民生協の平川右京さん、5位はコープおおいたの藤井一彰さん、10位以下は5飛び賞とブービー賞で17人が入賞しました。

また、今回は第30回の節目として特別賞を設け、参加者の中で最長寿である日田市民生協の河野洋子さんに贈呈しました。

表彰式には参加者全員が残り、司会の萩原組織委員(県連監事)より入賞者が発表される たびに会場は大きく盛り上がりました。

参加者からは「楽しく交流させてもらいました、来年も是非開催してほしい」との声を いただきました。









2019年度会員生協役職員研修会を開催

県生協連主催の役職員研修会を2019年11月29日 金に大分市中央町「ソレイユ」において開催し、県連役員と12会員生協中11会員生協の役職員合計50名が参加しました。

研修会は、首藤俊一県連理事の総合司会で始まり、主催者を代表して青木博範会長理事より「多忙の中臨席された来賓の方々に御礼申し上げます。全労済の調査で、協同組合や生協への認知度が低いことが指摘されており、今回の研修会では私達自身が県連加盟の各生協の内容を理解することを目的に、各会員生協から組織概要や活動を報告することとしました。」と挨拶と趣旨説明があり、来賓として石松久典大分県消費生活・男女共同参画プラザ所長、鈴木浩文日本生協連合会九州地連事務局長、安岡正義大分県消費者問題ネットワーク理事長のあいさつの後、各会員生協の報告に入りました。

【報告の概要】

①生協コープおおいた(山村常務理事より報告)

1952年設立、組合員数は168,279名 (大分県世帯の34.2%)、事業高は約185億円、 宅配は約6万人利用、大分駅内含む県内8店舗を運営、買物弱者支援の移動店舗も実施、 共済・福祉・生活支援事業等も運営、6つのグループ会社あり

②日田市民生協(後藤専務理事より報告)

1976年設立、組合員数は17,965名(市民の約65%)、事業高は約13億5千万円、

市内に3店舗を運営、共済事業やその他利用事業を実施、日田市と災害時支援協定を締結

③グリーンコープ生協おおいた (阿部副理事長より報告)

1986年設立、組合員数は29,469名、事業高は約40億円

県内に宅配6センターと4店舗を運営、産直(たまご・瓶牛乳)事業、生活再生・電力事業等を実施、社会福祉法人グリーンコープを運営

④大分県学校生協(岩本事業部担当より報告)

1966年設立、組合員数は11,351名(県内小中学校の教職員や退職者)、事業高は約3億8千万円、 購買事業や各種保険事業等を実施

⑤大分県高等学校生協 (三重野専務理事より報告)

1960年設立、組合員数は3,944名(県立高校の教職員や退職者)、事業高は約3,600万円、 購買事業や各種保険事業等を実施

⑥大分大学生協(金子専務理事より報告)

1968年設立、組合員数は6,052名(大学の教職員と学生)、事業高約9億6千万円、学生のキャンパスライフをサポート

(7)大分県職員消費生協(政丸専務理事より報告)

1973年設立、組合員数は6,303名(県職員と退職者)、事業高は約1億2,600万円、県内7売店で購買事業、各種保険事業等を実施

⑧自治労大分県本部信販生協(首藤専務理事より報告)

1970年設立、組合員は約11,750名(自治体職員等と退職者)、事業高は約1億9,600万円、 県産品愛用運動を中心に購買事業や各種保険事業等を実施 ⑨大分県労働者総合生協(古本管理部長より報告)

1960年設立、組合員数は12,913名(各労働団体の役職員等)、事業高は約8億4千万円、 共済事業、住宅販売事業、旅行斡旋事業を実施

⑩大分県勤労者医療生協 (矢野事務長より報告)

1981年設立、組合員数は55,711名(労働団体役職員や地域住民)、事業高は約7億5千万円 大分協和病院・佐伯診療所を運営、訪問看護事業等を実施

①大分県医療生協(姫野リハビリ部長より報告)

1973年設立、組合員数は27,377名(地域住民)、事業高は約30億7千万円、 大分健生病院・診療所等を運営、医療・介護・福祉事業、生活支援事業を実施

迎大分県福祉生協(当日欠席)

2003年設立、豊後大野市三重町、組合員数は3,548名、事業高は約1億5,200万円、給食(宅配) ・通所介護・生活支援事業等を実施



生協コープおおいた



日田市民生協



グリーンコープ生協



学校生協



高校生協



大分大学生協





自治労信販生協



総合生協



勤労者医療生協



医療生協

県生協連と県行政との懇談会

県生協連役員と県行政との懇談会が、2020年1月30日休大分市のアートホテル大分で開催されました。

当日は、宮追敏郎県生活環境部長が新型コロナウイルス対策により急遽欠席となり、消費生活・男女共同参画プラザの石松久典所長、原田幸子補佐、首藤英樹主幹の3名が出席し、県生協連は青木博範会長理事をはじめ15名の理事・監事・職員が参加しました。

この懇談会は、県生協連が県へ予算要望書を提出し、県の回答書を受けた後、生協と行政と の相互理解を深め、連携していくための意見交換の場として毎年開催しています。

【要望事項と回答の概要】

1. 消費者行政の充実・強化

- ①県消費者基本計画の成果や課題を検証し、県生協連等各団体の意見を聞きながら次期計画 を策定する。
- ②消費者行政予算の確保に向け努力していく。
- ③消費生活センター未設置自治体へ引き続き働きかける。
- ④消費生活相談員の確保と資質の向上のため、養成講座や研修事業の実施、処遇改善に向けて引き続き市町村へ働きかけていく。
- ⑤ライフステージに応じた消費者教育を推進しており、今後は若年層の被害防止に向けて取り組む。
- ⑥大分県消費者問題ネットワークへは法令周知の普及・啓発、研修事業の委託を継続し連携 して取り組む。

2. 食の安全・安心、食品ロス削減の推進

第5次県食品安全行動計画に基づき推進し、HACCPに沿った衛生管理を事業者に指導、県食育推進計画に基づき取り組みを推進、国の食品ロス削減方針を踏まえ、県の推進計画を策定し取り組みを推進、県内食料自給率向上に向け、地産地消等様々な取り組みを推進、種子法に代わる県の要綱等整備し体制を維持する。

3. 生活協同組合の育成・強化

消費者行政として生協を消費者団体の中核と位置付け、消費者教育推進、消費者被害防止 の具体的取り組みを連携しており、今後も連携を深めていきたい。

4. 大規模災害等の被災者支援と復興・再生及び今後の災害対策

県防災会議や災害対策ネットワーク会議等で取り組み、県民安全安心メールや防災アプリ 等の活用を推進する。

5. 生活困窮者支援の強化

①今年度は大分県子ども生活実態調査を実施、結果を分析し、3月頃県ホームページで公開 予定である。 ②おおいた子ども食堂ネットワーク連絡会を県内7ブロックで設置し、関係機関と連携して取り組みを推進する。

6. 暮らしの安全・安心の確保

大分県産材の活用を推進、屋上緑化・壁面緑化等の取り組みを推進、家庭や事業所等のCO² 削減に向けた取り組みを推進する。

7. 農林水産業の育成

- ①毎年秋に大分県農林水産祭を開催、約10万人が来場している。
- ②県産食材提供の「とよの食彩愛用店」の認定を推進、地産地消や産直の拡大に向けた支援を実施している。
- ③担い手育成、新規就業者の確保に向けた支援も実施している。

8. 医療・福祉

- ①障がい者制度の適切な取扱いを市町村に指導を継続していく。
- ②介護福祉の人材確保・処遇改善に引き続き努力する。
- ③子ども医療費助成は県も各自治体も実施しているが、全国一律の制度設計の策定に向け国 に対し要望を継続する。









生活協同組合コープおおいた

田んぼの生きもの調査

9月15日(日) 参加者37名

JA全農おおいたとの共催で生きものを捕まえて観察、学習するイベントを大分市の田んぼで開催しました。参加し

た子どもたちは田んぼで様々な生きものを捕まえ、図鑑を使って 種類を調べました。その後、場所を移し環境に関するパネルシア ターの読み聞かせを行ない、JA全農の中川さんを講師に捕まえ た生きものの学習会を行ないました。今回の調査では26種類の生 きものを見つけ、生きものにとって田んぼは非常に重要な住処で あることを教えていただき、さらに生物多様性の重要性も教えて いただきました。

この企画はSDGsの「⑥陸の豊かさも守ろう」に関連しており、子どもたちがさらに生きものや環境、生物多様性の大切さについて興味を持っていただく機会となりました。



豊の国 雇用促進フェスタ

11月1日金

年齢や障がいに関わりなく働ける社会の実現を目指して、大分県労働局や大分県などが共同で主催する「豊の国 雇用促進フェスタ」にて、コープおおいたは『(独) 高齢・障がい・求職者雇用支援機構理事長表彰 障がい者雇用優良事業所努力賞』を受賞しました。この賞は障がい者の職域拡大・雇用改善などに積極的に取り組んでいる団体や事業所に贈られ、コープ別府店での障がい者雇用促進などが評価されました。

これからもコープおおいたは一人ひとりがいきいきと働き、 地域で活躍できる環境を整備し、SDGsの「⑧働きがいも 経済成長も」を達成するべく、取り組んでまいります。



親子 de クリスマスパーティー

12月21日(土) 参加者500名

大分市の明日香美容文化専門大学校で毎年恒例のクリスマスパーティーを開催し、ご応募いただいた601名の中から抽選で選ばれた500名に参加していただきました。

絵本作家ザ・キャビンカンパニーの「クリスマス★げきじょう」の読み聞かせや触れるだけで盛り付けができる、不

思議なケーキのパネルシアターを行ない、会場から楽しそうな声が聞こえてきました。その後、キラキラした三角帽子、クリスマスベルを親子で作り、お気に入りのシールを貼ったり、好きな形にしたりとそれぞれの個性が光る作品が出来上がりました。

体を動かす時間では、共済キャラクターのコーすけも登場して「ちょっとだけ体操」や「ジングルベル」を一緒に歌い、その日一番の笑顔を見ることができました。最後にサプライズゲストとしてサンタクロースが登場し、子どもたちは少し怖がりながらも「ありがとう」と感謝を伝え、クリスマスプレゼントを受け取っていました。



日田市民生活協同組合

主な活動紹介





組合員スポーツ活動

現在、日田市民生協では、組合員の健康的な生活応援の一つとして各種スポーツ大会を開催しております。30年前に始まったミニバレー大会以来、グラウンドゴルフ、バレーボール、ゲートボール、ボウリング大会が毎年1,200名を超える組合員参加のもと開催されております。

組合員料理教室

昨年末には野菜ソムリエの原田先生をお招きして地元野菜を使った『ワンプレートおせち』の教室を開催しました。地元ケーブルテレビにも協賛・紹介していただきました。

日田市民生協 & 野菜ソムリエ原田京子共催 KCV「きんろくスタジオ」で紹介された

ワンプレート御節 料理教室

日 時 12月20日(金) 10:00~13:00

場 所 咸宜公民館 参 加 費 2000円/名

参加人数 20名 ※募集人数に達しましたら締め切ります

完成した料理は、お盆と一緒にお持ち帰りいただけます

共 催 日田市民生協新治店 電話 0973-24-6411 IMIRUキッチンスタジオ電話 090-3605-8661





環境保全マイバッグ持参運動

1991年より取り組みを開始した『マイバック運動』ですが、多くの組合員の皆様のご理解とご協力により、昨年2019年は年間を通じ92.2%を達成いたしました。よって、組合員との約束により現時点ではレジ袋の有料化は実施いたしておりません。

グリーンコープ生活協同組合おおいた

ぽかぽかプロジェクトinおおいた ~あの日から8年福島の「今」を知る~

「ぽかぽかプロジェクト」は、福島の子どもたちに少しでも放射線量の低い場所で過ごさせたいと願う親たちの思いを受け、福島第一原発事故直後から進めている保養プロジェクトです。 グリーンコープ生協では、組合員からのカンパを活用し、保養時の食材提供と交流を行っています。

10月30日(水福島のお母さんをお招きし、8年が過ぎた「今」のお話をお聞きしました。事故でどれだけ苦しみ、悩み、傷つき、たくさんのことをあきらめ、我慢し、耐えてきたのかが、ダイレクトに届くお話でした。原発は、行き場のない怒りにも似た悲しみと共に数々の分断をもたらしました。福島を離れた人、賠償金をもらえなかった人、保養を必要とする人、それぞ

れが思いを語れず自分を責め、苦しむ人が今も多くいます。いちばん大切なのは命、そしてそれを育む日々の生活。これをうばった原発は必要なのでしょうか。「子どもたちには福島に暮らす誇りを感じ、希望を持ってここに住んで欲しい」という一人の母親の切なる願いが実を結ぶことを心から祈り、寄り添い続けていきます。



種子(たね)はどうなる?~「遺伝子組み換え」「ゲノム編集」で食卓にしのびよる危機~

11月7日(内ビーコンプラザにて、ジャーナリストで「遺伝子組み換え食品いらない!キャンペーン」代表の天笠啓祐さんと、元農林水産大臣で「日本の種子(たね)を守る会」を設立した弁護士の山田正彦さんを講師に種子法学習会を開催しました。

天笠さんには、遺伝子組み換え技術による種子栽培や特許支配、種苗企業の買収、遺伝子を 壊してしまうゲノム編集に関するお話をしていただきました。

山田さんには、種子法が廃止された日本の農業が今後どのようになっていく可能性があるのか、日本古来の種子を守るために各県で条例をつくり私たちの食べものを守るべきというお話をいただきました。また、除草剤「ラウンドアップ」の使用で皮膚癌になった農家、韓国ではほとんどの小中学校給食はオーガニックを取り入れていること、アメリカで販売している日本

のポテトチップスには「ガンになる おそれがある」という警告が書かれ てあることなども紹介されました。

大分県では種子条例が制定されていません。グリーンコープ生協では 種子条例制定のために、これからも 活動をしていきます。





大分県学校生活協同組合

学校生協・高校生協・教職員共済生協 共催 ライフプランセミナーが開催されました

12月14日(土)に大分県教育会館で**『退職を見通したライフプランセミナー』**が開催されました。3生協合同での共催セミナーとして参加者募集の開始早々から当初の定員100名を大幅に超える申込みがありやむなく参加をお断りした方もある中、当日は118名の参加となり組合員さんの関心の高さが伺える催しとなりました。初めに開会を学校生協の高瀬専務理事、主催者代表として教職員共済大分事業所の横道所長からそれぞれ「組合員さんの安心・安全・豊かなくらしの手助けとなることが生協の役目です。不安の多いこれからの社会に向けて、退職後はもちろん生涯に渡って皆さんの生活を支えて行きます。」と挨拶がありました。

セミナー I では『気になる!退職後の社会保険と税』と題して講師の教職員共済生協エリア担当アドバ

イザーの岡本和子さんより、公的年金制度や退職手当制度、適当な死亡保障・ 医療保障、退職後に向けて今から準備すべきこと等の内容で、大分県教職 員の状況を踏まえた具体例の資料をもとに非常にわかりやすい講義が行わ れました。満席に埋まり熱気で溢れる会場の中、岡本講師の講義を、時に は笑いあり、一方ではしっかりとメモを取りながら熱心に聞き入る組合員 さんの姿が多く見られました。

続いて教職員共済大分事業所主査の山村さんより「火災共済」「自然災害 共済」の案内があり、昼食をとっていただきながら㈱日本トリムさんより 健康促進の一助としてお役に立てるようにとトリム整水器の案内が行われ ました。

セミナーIIでは教職員共済生協共済開発部部長の富永善雄さんより**『世の中の変化を踏まえて、金融商品の選択を考える!』**と題して、今、金融市場で何が起こっているか?、金融商品の分類と注意点、リターン目的の金融商品選択等についての講演をいただきました。金融機関の状況や投資や保険選択の注意点やリスク、安定したリターンを得るための注目点等、退職後の生活設計や財産運用に役立つ豊富な情報やアドバイスをいただきました。

会場には、㈱高麗人参本舗の試飲や、㈱大富住建、(財)やすらぎ霊園、 えだ画廊の指定店ブースを設け、組合員さんへ商品やサービス等も紹介さ れました。

セミナーの最後にはおたのしみ抽選会が行われ、生協の取扱商品の日本酒、 ワインセット、フルーツ頒布会のりんご等が当選者に渡され、高校生協の三 重野専務理事より閉会の挨拶があり盛会のうちに終了しました。

その後行われる教職員共済の個別相談会にも多数申込があり、退職後の ライフプランへの関心の強さが見られました。また、今回のライフプラン セミナーに惜しくも参加できなかった組合員さんより次の開催を希望す る声も多く頂いていることもあり期待されるイベントとなったのではな いかと思われます。



教職員共済エリア担当 アドバイザーの岡本和子さん



教職員生協共済開発部 部長の富永さん



熱心に抗議に耳を傾ける 参加者の皆さん



指定店ブースの様子

大分大学生活協同組合

大学入試時に入学準備の説明会を実施

前期入試時に、保護者を対象にした入学準備説明会を実施しています。一人暮らしを予定され ている方向けのアパート紹介を始め、共済・自動車学校・パソコン・ミールカードなど入学の際 に必要となる準備物や、大分大学生協の各種サービスを紹介しています。当日は400名を超える 保護者の方が参加されています。

近年ではアパートの契約が早期化していることもあり、一人暮らしを予定している保護者の 方々は特に住まいについての説明を熱心に聞かれていました。説明会後はアパート見学バスツ アーや学生寮の見学ツアー個別相談を実施し、新入生の新生活の準備や保護者の不安解消を行っ ています。



説明会の様子



バスツアーの様子

サポートセンターでの入学準備サポート

前期入試合格発表後の3月6日~3月末には食堂にて新入生サポートセンターを開設し、個別 に大学入学準備をサポートしています。サポートセンターで接客するのは現役の大分大学生ス タッフ。実際に大分大学で過ごしている自身の経験をもとに新入生や保護者にアドバイスをしな がら新生活に向けてのお手伝いをしています。



サポートセンター学生スタッフ



接客の様子

大分県職員消費生活協同組合

組合員サービスの強化に向けて

2019年4月から自治労会館1階で売店と事務局を一体 運営しています。組合員の声を活かしながらサービスの 強化に向けて各種事業の展開を図っています。

11月には500枚限定で「おんせん県マウスパッド」とと もに「QUOカード」の販売を始めました。一般販売もし ていますのでお近くにお越しの際はお求めください。

環境問題への意識啓発として、10月に食品ロス削減推 進法が施行されたことから「おおいた30・10運動」や「マ

イバッグ運動」とともに 11月に各地区の生協推進 委員会で消費者庁の食品 ロス削減チラシを配布し ました。

組合員の声から作成した マウスパッド





県行政との連携強化

行政連携の取り組みの一環として三人寄れば文殊の知 恵発祥の文殊仙寺で護摩焚き祈願した県産ブランド米の 特別栽培米「つや姫」合格祈願米を1月から生協限定 100個販売しました。

また、12月には、「OITAえんむす部 結婚応援団」 に登録し、生協ニュースなどにより、出会いサポートセ ンターの広報や結婚後・出産後も働きやすい環境づくり に努めていくこととしています。



大分県労働者総合生活協同組合

住宅事業について

◇創立60周年記念キャンペーン

対象期間:2019年6月1日~2020年5月31日までのご契約

【分譲部門】

- ・対象分譲地の購入者に定価60万円相当の住宅設備オプション贈呈(先着10名)
- ・対象分譲地の紹介者にQUOカード3,000円プレゼント(先着10名)
- ・さらに紹介後成約の場合、紹介者に総合生協旅行券10万円分進呈(先着6名)
- ★対象分譲地:大分市あすみの丘・大分市ビューステージ高崎台・別府市新別府

【リフォーム部門】

・リフォーム事業利用者にリフォーム代金の3%を還元 ※リフォーム工事は御見積金額10万円(税別)以上に限ります。



【問合せ先】大分県総合生協住宅事業部 0120-557-887

旅行センターについて

◇創立60周年記念 新規団体旅行紹介キャンペーン

対象団体:旅行センターに新規でお申し込みの団体旅行 ※過去にお取り扱いのない団体旅行となります。

対象期間:2019年6月1日~2020年7月31日までに出発の団体

対象条件:15名様以上で1泊以上の国内・海外団体旅行(貸切バス・航空機・JRなど交通機関のついた団体旅行)

プレゼント:15名様以上のご紹介の場合

紹介者様、旅行幹事様それぞれに5,000円のギフト券をプレゼント

※15名様ごとにそれぞれ5,000円のギフト券を追加で進呈します。(例) 35名様の場合 紹介者様、旅行幹事様

へ各10,000円のギフト券

◇大分市内・別府市内宿泊プラン

【2019年4月1日(月)~2020年3月31日(火)まで】

大分市内、別府市内での会議、懇親会後の宿泊として皆様にご利用いただいております。

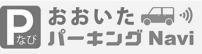
大分市内:6施設 別府市内:5施設を設定

総合生協中央パーキングについて

【時間貸し料金】

·昼間(8時~18時)45分100円 · 夜間 (18時~8時) 60分100円 昼間最大800円

夜間最大500円





駐車場の空き情報があなたのケータイで。

【お得なプリペイドカード】

・10,000円券を7,400円で販売 ・5,000円券を4,300円で販売

*おさるのマーク、「大分市中心市街地共通駐車券」の加盟駐車場です。 全労災ソレイユや大分市中心部商店街にご用の際は是非ご利用下さい。 なお、おおいたパーキングNaviで、駐車場の空き情報もわかります。



19

大分県勤労者医療生活協同組合

生協強化月間と虹のバレンタイン行動

今年度も残り少なくなったということで、2019年度後半を振り返ってみようと思います。 まず、秋の生協強化月間。毎年、10月・11月は生協強化月間です。

勤労者医療生協では、9月後半から12月の第1日曜日までを期間とし、取り組んでいます。

主な取り組みの結果としては、まず9月18日に キックオフ集会も兼ねた健康クラブの「囲碁大会」 では、参加者90名、うち新規組合加入者14名。

10月の「グラウンドゴルフ大会」には、107名が参加し、新規組合加入者6名でした。11月は健康クラブの「バスハイク」があり、参加者97名、新規組合加入者10名。12月の「ミニバレーボール大会」では、161名が参加し、新規組合加入者44名でした。

今回の強化月間では、新たに201名の方が組合員になり、増資も85名の方にご協力いただきました。







年が明けて2月には「バレンタイン行動」に取り組みました。バレンタインデーに合わせて、医療生協のさまざまな活動を、より多くの地域の皆さまに知っていただく機会として、また、日頃からの医療生協の利用・事業への参加・協力に感謝を込めて、取り組みました。今回は、医療福祉生協は「SDGs」に取り組んでいるという内容のリーフレットと職員手作りのカードにミニチョコを添えて、患者様や利用者の皆様等に手渡しました。

大分県医療生活協同組合



秋のウォークイベント in 蒲江





10月10日休、3年ぶりのウォークイベントか開催され、佐伯市蒲江のたかひら展望公園に県内の組合員98名が集いました。

10月にしては暑すぎるくらいの晴天でしたが、大海原 の絶景を眺めながらそれぞれのウォーキングを楽しみま した♪

帰りは道の駅でお買いもの。新鮮な海の幸やソフトクリームを堪能し、お出かけならではの楽しい時間を過ごしました。



みんな揃って、さぁ出発!

参加者からは「大好きな草花もたくさんで大満足!」、「助け合って楽しく行動できました」、「1万歩の目標達成ありがとうございます!」、「毎年こんなイベント開催して欲しい」等、嬉しい声をたくさん頂きました。



はりきって、ウォーキング前の準備体操



絶景を望みながらの昼食タイム

別保子ども食堂オープンしました

大分県医療生協の子ども食堂2か所目が別保校区に8月オープンしました。当日は、15名のボランティアが集まり、そうめ にん流しの準備をはじめ天ぷらを揚げたり、総菜を作ったりと大奮闘。地域の子どもたちはもちろん、「大人も来場して多世代交流の場にしたい」という思いで準備をしてきた「別保子ども食堂」。その願い通りに、初日は子育て世代や若い労働者の方、高齢者など幅広い年齢層の方が約50名来てくれました。

毎月第2水曜日夕方5時から7時まで開店して夕食を提供しています。フードバンクや地域の方に食材をいただいたり、



また「何か自分も役に立ちたい」、と家具や電化製品の寄贈もあり、地域の方々に支えられて運営できています。

大分県福祉生活協同組合

ふくし生協「地域活動の取り組み」



大分県福祉生活協同組合では、地域活動の一環としてゲートボールやグラウンドゴルフの大会を開催しております。本年度も、10月8日に豊後大野市三重町にて、「第16回福祉生協杯ゲートボール大会」を開催、12月27日には豊後大野市千歳町にて、「第12回ニコニコ生活村杯グランドゴルフ大会」を開催いたしました。当日は寒波の影響により寒い日となりましたが、大会には220名もの方が参加されました。

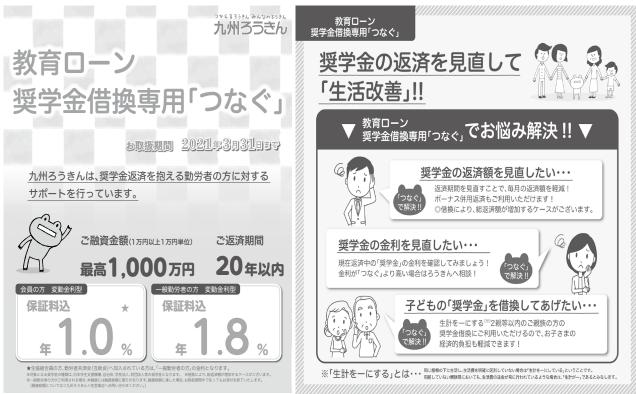
第11回「ニコニコ生活村祭り」

11月3日ニコニコ生活村グループの医療法人ニコニコ診療所と合同で、「第11回ニコニコ生活村祭り」を開催いたしました。



大分県労働者福祉協議会

九州ろうきんと連携した社会的課題 (奨学金問題) へのお知らせ



※詳細は省いています。

お問い合わせ先 九州ろうきんお客さまサービス室 まずは、ご相談を!お待ちしています。

専用フリーダイヤル

ช.0120-796-210

【受付時間】平日9:00~17:00 https://kyusyu-rokin.com/ 九州ろうきん

九州ろうきんは、労働金庫法に基づき設立された勤労者のための福祉金融機関です

【中津支店】 【日田支店】 0979-22-1925 0973-22-6285 【佐伯支店】 【三重支店】 0972-22-2561 0974-22-0880 【別府支店】 【鶴崎支店】 0977-22-5331 097-521-8101 【大分県庁支店】 【臼杵支店】 0972-63-4161 097-538-7011

【大分支店】 097-536-2211 【宇高支店】 0978-32-6700 【竹田支店】 0974-63-1411 【国東支店】 0978-72-3311

【玖珠支店】 0973-72-1155 【ローンセンターおおいた】 097-536-6366

2019年度第3回理事会議事録

2019年9月26日休 16時00分~17時00分 1. 日 時

大分市都町「アートホテル大分」2階会議室 2. 会 場

3. 出席者 理事総数13名中12名出席、監事総数2名中1名出席

議 題

4. 議事

<報告事項>

(1)活動報告

7月27日 第28回親子で考える平和のつどい 7月30日 大分県労働者総合生協第37回通常 総代会

7月31日 日生協九州地連第1回運営委員会

8月 1日 大分県労福協編集会議

 $8月7 \sim 8$ 日 ピースアクション in ナガサキ

8月26日 大分市第1回地球温暖化対策普及 啓発部会

8月30日 大分県労福協第2回理事会

9月 3日 2019北部九州豪雨災害支援・募金活動 の状況調査

9月 9日 大分県委託チラシを各生協へ送付 9月10日 大分県議会議員への出席要請

(2) 会員生協の報告

<協議事項>

- (1)大分県労福協2019福祉研修会への参加について
- (2)「令和2年度県行政への要望書」の最終確認 と提出について
- (3)令和元年度大分県協同組合協議会研修会への 参加について
- (4)2019年度大分県生協大会の開催について
- (5)シンポジウム「地域で防ごう消費者被害 in 大分」への後援依頼について
- (6)県連第30回スポーツ交流会の開催について
- (7)県連2019年度役職員研修会・交流会の開催に

くその他>

- (1)2019年度第2回理事会議事録
- (2)2019年度損益計算書(2019年7月~8月)
- (3)当面の取り組み日程

2019年度第4回理事会議事録

1. 日 時 2019年11月29日金 13時00分~ 14時00分

大分市中央町 「ソレイユ」6階会議室 2. 会 場

3. 出席者 理事総数13名中12名出席、監事総数2名中全員出席

題

4. 議事

<報告事項>

(1)活動報告

9月26日 2019年度生協県連「監事研修会」

9月26日 第29回「生協と県議会議員との懇談会」

10月1日 大分県労福協情報紙第149号編集会議 10月2日 九州地連第2回運営委員会・活動推進会議

10月3日 第2回大分県消費者問題連絡協議会

10月6日 大分県労福協2019福祉研修会

10月12~13日 2019年度県連役員視察研修

10月16日 令和2年度大分県への要望書提出

10月18日 2019年度大分県協同組合協議会研修会

10月24日 2019年度大分県生協大会

11月1日 第26回九州地区生協・行政合同会議

11月9日 第30回県連スポーツ (ボウリング) 大会

11月21~22日 2019年度労福協南部ブロック研修会

11月26日 第2回大分市地球温暖化対策普及 啓発部会

(2)会員生協の報告

<協議事項>

- (1)大分県行政との懇談会について
- (2)シンポジウム「地域で防ごう消費者被害 in 大分」への参加について
- (3)2019年度「地域消費者フォーラム」への参加 について

くその他>

- (1)2019年度第3回理事会議事録
- (2)2019年度損益計算書(2019年9月~10月)
- (3)当面の取り組み日程

2019年度第5回理事会議事録

1. 日 時 2020年1月30日休 15時30分~16時25分

2. 会 場 大分市都町 「アートホテル大分」2階会議室

3. 出席者 理事総数13名中12名出席、監事総数2名中全員出席

議題

4. 議事 <報告事項>

2019年

12月2日 大分県労福協情報紙第150号編集会議

12月4日 第3回九州地連運営委員会・県連

活動推進会議

12月6日 公正取引委員会来局(消費者セミ

ナーの案内他)

12月6日 第3回組織委員会

12月20日 津久見市と地域消費者フォーラム

事前協議

2020年

1月6日 大分県消費者団体連絡協議会新年

県知事挨拶

1月21日 第54回大分県消費生活審議会「消

費者教育部会」

1月21日 日田市民生協財務経営ヒヤリング

(日生協・九州地連・県連)

1月25日 シンポジウム「地域で防ごう消費

者被害 in 大分」

1月29日 2019年度「地域消費者フォーラム

in 津久見」

1月30日 大分県労福協第3回理事会

(2)会員生協の報告

<協議事項>

(1)県連下期会費の決定と納入について

(2)大分県労福協60周年記念講演会・レセプショ

ンへの参加について

くその他>

(1)2019年度第4回理事会議事録

(2)2019年度損益計算書 (2019年11月~12月)

(3)当面の取り組み日程

(4)会員生協総代会日程表と年間スケジュール



SDGS と協同組合

-般社団法人 日本協同組合連携機構(JCA)

